

(参考様式・従前と異なる監理団体ケース (※引き継ぐ監理団体用))

## 理 由 書

年 月 日

法 務 大 臣 殿

監理団体名 (企業単独型技能実習の場合は実習実施者名)

住 所 ----- TEL -----

### 【記載例】

下記1の団体で受入れ中の技能実習生 (氏名: ----- 国籍: -----) については、技能実習を修了し、本年●月●日に帰国予定であったところ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、別途資料を提出したとおり、同国の居住地への帰宅が大変困難な状況にあります。

また、同人は、下記2の従前の受入れ機関の経営悪化等により、当該機関での活動継続が困難となり、退職することになったものと承知しています。

つきましては、同人が帰国できる環境が整うまでの間、日本に滞在し、当団体が実習監理を行っている下記4の受入れ機関において、当該期間中の滞在費支弁等のために、下記2の受入れ機関において技能実習で従事した業務 (●●職種・●●作業) と同種の業務に、従前と同等額以上の報酬で従事できるよう、在留資格の変更許可を申請します。

申請人が帰国できる環境が整うまでの期間における必要な助言・指導等については、技能実習生と同様に当団体が責任を持って行います。また、申請人の帰国の際には、申請人が円滑に帰国できるよう、下記1の団体と協力して対応します。

1 (従前の監理団体) A 監理団体 (●●県●●市●●町1-1)

2 (従前の受入れ機関) B 株式会社 (●●県●●市●●町2-2)

3 (引き継ぐ監理団体) 当団体

4 (今次の受入れ機関) D 株式会社 (●●県●●市●●町4-4)